

第28回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

令和元年7月30日(火) 13:30~16:20

場所：高知共済会館 3階 桜

出席者

評価委員：宮田速雄(委員長) 森下勝彦 木村靖二 寺田覚 井瀬潔
県：西本私学・大学支援課長 大崎課長補佐 石田チーフ 小笠原主幹

高知県公立大学法人：中澤理事長、村山法人本部長、上田総務部長他
(高知工科大学) 磯部学長、清水副学長、小路事務局長、谷本次長他
(高知県立大学) 野嶋学長 五百藏副学長 中野副学長
岡村事務局長 浅野次長 他

委員長

平成30年度業務実績報告書の全体概要及び高知県立大学の教育・研究・社会貢献の部分について、高知県公立大学法人から説明をお願いする。

法人本部

・・・説明・・・

高知県立大学

委員長

ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。

A委員

いくつか説明をお願いしたい。研修生とはどれくらいの期間滞在するのか教えていただきたい。また、研修生はどこに宿泊するのか。

高知県立大学

主に短期研修で1週間から10日や、1ヶ月や3ヶ月のものがある。協定先の大学生を研修生と呼んでいる。短期の場合は一時的に寮を使用していたり、ホームステイを利用していたりしている。長期での受け入れは、協定に基づいて宿舎を用意している。

A委員

31ページ下段はよく出来たという評価だが、32ページの健康栄養学部だけ数字を示していないのは何故か。また、ディプロマ・ポリシーに紐づくとはどういうことか。

高知県立大学

1学年の人数が少ないことと、項目を見直したうえで結果を出していきたいとのことから、結果の公表を1年遅らせることとなった。
ディプロマ・ポリシーに5つくらいの項目がありその項目を指標化しており、ディプロマ・ポリシーと関連付けることを紐づけと言っている。

A委員

34ページの評価についてたくさん記載していただいているが、人数など数字を示していただくと分かりやすいが、数字は分かるか。また、その上段の「高度実践家」とはどのような定義か。

高知県立大学	ここでは示していないが元のデータに変えれば出せると思う。この場合の「高度実践家」は、基礎ライセンスに加えて修士あるいは博士の学位を持って実践していることを指している。
委員長	36ページの中段で「必要な教育組織の改善・充実を行うことができた」とあるが抽象的であり、具体的な例を教えてください。
高知県立大学	研究科に関して、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを見直して、その中で力を入れた方がよい領域が判明したため、教員の配置を考えた。
A委員	39ページで外国人教員による授業を実施したとあるが、どのような講義か。また「英語教育の充実」とはどのようなことを実施したのか。
高知県立大学	海外の提携大学から教員を招聘して特別講義を行った。英語を通じて専門科目の教育を学んだということから「英語教育の充実」とした。
A委員	41ページ（上段）で「迅速に対応できるよう常時備えた」とあるが、何を備えたのか。
高知県立大学	フォローアップが必要な学生が出てきた場合、申出や相談に迅速に対応できるように、準備態勢を整え、学生に周知した。
A委員	全般的な話だが、満足度は当てにならないなどが問題になっており、大学評価において授業評価などは全国的にあまり取り上げなくなっている。授業評価とは授業の内容の評価ではなく、授業の方法などを評価するものであれば良いため、授業評価という書き方ではなく授業方法評価など丁寧に書いた方がよいのではないか。
高知県立大学	本学の授業評価は、授業の目標が明確であるか、授業方法など10項目を設けており、教員にフィードバックしている。
高知工科大学	本学にも共通する内容であるため説明させていただきたい。本学においても学生による授業評価を行い重視をして使っている。教員がはじめに授業の方針を伝えたか、熱意が感じられたか、自分（学生）は勉強したか、興味は持てたか、力がついたが、授業は自分にとってどのくらい難しかったかが項目である。これらの結果を基に授業評価を行い、教員評価に結びつけている。
A委員	良い評価の仕方だと思う。授業評価をしてはいけないということではなく、誤解を避けるために内容の説明をお願いしたい。

B委員	<p>88ページの下段において、「宇和島プロジェクト」はどこからいくら補助金をもらったのか。また、高知県内にも被災地はあったが、何故宇和島だったのか説明をお願いしたい。</p>
高知県立大学	<p>大和証券福祉財団ボランティア活動助成より29万円いただき、「だんだんカフェ まちの保健室」を開設し1ヶ月に1回宇和島に行っている。この共同災害看護学専攻は5大学から成っており、役割分担があることから、高知県立大学は四国を担当することとなった。ただし、高知県内においても学部生を中心に安芸市にボランティアに入ったため、高知に何もなかったということではない。</p> <p>(追加説明: 公益財団法人日本財団平成30年7月豪雨NPOボランティア活動支援より100万円の活動支援を受けている。)</p>
C委員	<p>31ページ(下段)においてディプロマ・ポリシーに関する学生アンケートを行っているがその結果が高かったら良い、と信じて良いものか。ディプロマ・ポリシーに沿った能力をつけるためにカリキュラム・ポリシーがあり、本来はカリキュラム・ポリシーと能力を関連付けてテストの出来具合からその項目の到達度を見るべきではないか。また、63ページの「高知県Next次世代型施設園芸農業推進事業」にはどの学科の先生が入って取り組んでいるのか。</p>
高知県立大学	<p>ディプロマ・ポリシーにどのカリキュラムが対応しているのか分かるよう、カリキュラムマップを作成している。試験の結果からディプロマ・ポリシーの到達度も分かるが、学生の主観的な到達度を測ることも1つの方法であることから、今回は学生による自己評価の方法をとっている。主観的であることによる限界があることも理解している。</p> <p>「高知県Next次世代型施設園芸農業推進事業」においては、健康栄養学部において、食品官能性に関する教員が参画している。</p> <p>(追加説明: 「高知県Next次世代型施設園芸農業推進事業」では生産システム、省力化技術、高付加価値化、流通システム、総合管理といったテーマの中で、健康栄養学部の教員は、高付加価値化においてチーム長として取り組んでいる。機能性成分について説得力のある根拠をつけて販売の向上に寄与するチームである。)</p>
C委員	<p>試験は出来たが、よく分かっていないという学生もいるので、その場合はつなげ方がうまくないということになる。そのようなことを調べるためにアンケートを使うとさらに授業が改善できると思う。</p> <p>また、79ページ(下段)において、計画を上回ってたくさん実施したことを記載されているが、どのような理由からたくさん実施したことに至ったのか。</p>
高知県立大学	<p>がんについては日本の中でも非常に重要な事項であり、がん患者が予</p>

防も含めて少しでも健やかに生活できるように取り組んでいる。その他政策的なことに取り組んでいることから活発化したと考えている。

C委員

84ページ（下段）県内高校は102校330人の生徒が参加したとあるが、期待値や目標はどういうところで、どのくらいだったから上回ったというようなものはないか。

高知県立大学

目標を掲げていたわけではないが、上回ったということに関しては、46校から102校に、182人から330人と増加しており、参加した高校生のアンケートからではあるが満足度も高かったことから、数の面、質の面ともに前年度を上回ったと自負している。

C委員

どのくらいの目標を立てて、このくらいまで来たということと言われるのかと思った。来年はどうなるのか、という思いがある。

今回はこうきたけれどそれは何が良かったかと考えながら次があると思うので、今回どのくらいの目標でこのくらいまで来た、というのが聞きたかった。

委員長

続いて、高知工科大学の教育・研究・社会貢献の部分について、高知工科大学から説明をお願いします。

高知工科大学

・・・説明・・・

委員長

ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。

A委員

53ページの交流協定大学47校全てと関係を維持しているのか。また、受け入れ側で大学生をどのように見ているのか。

高知工科大学

粗密はあるが維持している。年に1回交流があるところもあるが、数年に1回の交流となっている大学もある。特に重視しているのは学生の交流で、博士課程において留学生用の特別プログラムを設けている。主に東南アジアで交流協定を結び広報をして学生に来ていただいているため、結果的に粗密につながっている。

大学では派遣前に学生に対してパスポートの取り方から安全教育等トレーニングを行っている。

帰国後は学長も出席する報告会を行っている。

定性的な表現にはなるが、学生はカルチャーショックを受けて英語を勉強しようとするようになってきている。

C委員

52ページの国際性に関しては、先立つものが必要だと思うが、大学としてはどのくらいを狙っているのか。また、機会の提供を目標に入れているが、何名くらいであればできそうか。

高知工科大学	<p>2,000人のうち100人程度である。また、工科大学は工学分野が中心で、製造拠点を海外に移すことは当たり前に起こっている。日本企業に就職をしても、海外勤務はあり得るため、海外赴任を命じられてもそれほど驚かずに行ける状態まで教育したい。</p> <p>現在は機会の提供ができています。重点項目であるため、人数が増えた時にファーストプライオリティをもって優先度をあげて精一杯提供したい。</p>
C委員	<p>55ページの年度計画において、「寮生に対しては食育をはじめとして～」とあるが、うまくいったか。</p>
高知工科大学	<p>寮生に対する朝食については5年程前から取り組んでおり、生協に協力をお願いして、提供している。貧血等で寮で倒れる学生が減ったとは聞いている。</p>
C委員	<p>58ページの学力の3要素について、測ることが難しい主体性や多様性、協働性はどのように測っているのか。</p>
高知工科大学	<p>一般選抜においては高校からの内申書を確認している。特別入試に関しては面接で測っている。ただ、追求していくと100%は難しいと感じているが、大部分は面接で見れていると思う。</p>
C委員	<p>77ページの項目については経済マネジメント学群が入っていないようだが。</p>
高知工科大学	<p>入っている。</p>
A委員	<p>99ページについて、留学生等の外国人に対して特別な災害訓練や資料提供など行っているか。</p>
高知工科大学	<p>アラートが英語でも対応しており、避難訓練も行っている。正規の学生にはオリエンテーションで情報提供している。また、防災に関する資料の英語版は研究員にも渡している。</p>
委員長	<p>続いて、第3以降の部分について、法人から説明をお願いします。</p>
法人本部	<p>・・・説明・・・</p>
委員長	<p>ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。</p>
B委員	<p>94ページの外部資金獲得について、県立大学はS評価、工科大学は新規採択率が全国平均を上回っているため、S評価ではだめなのか。</p>

100ページで防災訓練安否確認システム回答率が73%は低すぎるのではないか。事務局としてはどう考えているのか、目標は。

法人本部

科学研究費に限って言うと、工科大学は昨年度と比較すると39.8%から31.7%と下がっていることからA評価にとどめた。

防災訓練安否確認システム直ちに返信するように周知はしていたが、数値目標は立てていなかった。仰るとおり命に関わる問題であるため90%以上を目指すべきだったと反省している。届かなかった分については日頃から意識を高めていくよう今から準備していきたい。

委員長

機種変更などで安否確認システムのメールが届かず数値が低かったかもしれない。メールが来なかった方に再度アンケートを行い、メールが来ていなかったのか、来ていたが返信をしなかったのかを調べた方が確実である。

法人本部

検討する。

D委員

94ページ以降は、財務内容の改善に関する事項を達成するための措置となっている。評価を行ったり係数が出てきた場合には財務内容の改善かどうかという判断になるため、財務諸表と整合性がとれる必要があると考える。しかし、県立大学と工科大学の科研費の件数と金額と合計が付属明細書と合わない。事前に各大学に確認したところ科研費の繰り越し、他大学から受ける分担金、他大学へ交付する分担金の計上方法が各大学で異なっている。1法人であるためダブルスタンダードではなく統一基準を設けるべきではないか。

法人本部

ご指摘のとおり差異が出ており、財務諸表が2,000万円ほど少ない状況である。財務諸表については、両大学が代表として獲得した金額のうち共同研究者等が他大学にいることによる分担金はマイナスとしている。他大学が獲得したもののうち、分担金として受け取っているものは財務諸表上でプラスとして計上している。しかし、実績報告書においては、各大学で計上基準が異なっている。各大学が研究代表者として資金を獲得した場合、他大学への分担金は減算していないことは共通。異なる点は、工科大学のみ、共同研究者として他大学から分担金を受け取った金額を加算している。本来であれば同じ基準で記載すべきであったと反省している。財務部門、研究支援担当者にご指摘を含めて今後整備をしていきたい。

委員長

次に、財務諸表等について、法人から説明をお願いします。

法人本部

・・・説明・・・

委員長

ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。

D委員

2点教えていただきたい。4ページ(平成30年度決算の概要について)に法人全体では当期総利益に大きな変動はないが、大学別に見ると県立大学は△2,900万に対して工科大学は1億4,500万円の利益が出ており大きな差が出ている。工科大学はこの利益が出た理由に分析をしているのであれば教えていただきたい。もう1点は固定資産に図書を、県立大学は4億1,900万、工科大学は7億300万計上している。この計上している金額と管理はどのようになっているのか。

高知工科大学

工科大学では毎年度運営費交付金の額が確定し、授業料の収入見込みがたった段階で、収益側の額がほぼ確定するため、それを当年度の予算として教員一人一人に配分するが、節約することも伝えている。それは大学の大型設備を時々入れる必要があることや、特に香美キャンパスは建設後22年経過していることから建物の維持管理の負担が出ているためである。

法人本部

工科大学の収益については、授業料収入は1学年の定員520人に対して入学者が586人であったことから収入が増えた。、間接費についても昨年度と比べて3,900万円に対して5,100万円の増加があった。また、支出についてはリース契約の入札を行うことで、予定金額に対して1,600万円の経費の節減ができた。また先ほど学長から説明のあったとおり、教員配分研究費について教員が執行しなかった分が6,400万円あり、この分は繰り越しになっている。また受託研究の収入と支出はプラスマイナスゼロとなっているが、その経費においては自分の経費で行う予定だったものが受託をとることによって執行できた分も経費削減できている。

県立大学は2,900万円のマイナスとなっているが、これは会計基準の変更に伴って運営費交付金を費用進行にした場合3,200万円残っているが、この分は全て県立大学の退職金予定額が繰り越されたこととなっている。去年までの会計基準であればほぼプラスマイナスゼロだったのではないかと思う。

高知県立大学

図書の管理については、ICタグを導入しているためICタグと、現物管理、図書システム管理、財務でもシステム管理をしているため図書と財務で突合をしている。

図書は会計基準では固定資産になっている。地方独立法人会計基準では図書の、使用期間中の減価償却は行わないこととなっている。金額がわかるのであればそれを固定資産額として減価償却は行わない。しかし寄付等によるもので金額が分からないものについては1円として登録している。今回除却をしているが、除却をする前の除籍を決定した時点で先ほど言ったように固定資産は減価償却されていないため除籍を決定した時点で全て0円になる。

D委員	今年度図書はわずかしか増加していないため、決算内容で述べることはないが、現実はどうなのか。例えばバーコード管理はされているのか、貸し出しはどうなっているのか。
高知県立大学	県立大学は、平成29年に永国寺キャンパスの図書館がオープンしたときに図書を大量に除籍しているが、それ以降は除籍をしていない。
委員長	高知県公立大学法人による説明と質疑応答は以上とする。 ・・・法人退席・・・
委員長	高知県公立大学法人の業務実績報告書及び財務諸表等について、意見・質問があればお願いしたい。 特にないようであれば、次に、業務実績評価書について、事務局に説明をお願いします。
事務局	今回の議論を踏まえて事務局で評価書（案）を作成し8月13日までに送付するので、その案に対して意見をいただき、次回評価委員会において決定したい。
委員長	各評価書案は、事務局が本日の議論を受けて作成することとする。 各評価書案について、追加意見がある場合は8月21日までに事務局までお知らせいただきたい。 本日の会はこれで終了する。（了）